

## (書 の 部)

講 評

記録的な猛暑が続く中での書作となりました。いろんな思いを今まで以上に、作品に心を込めて取り組まれてきたと思います。日頃の研鑽が作品に表出し、観る者の心をつかみます。

最優秀賞は、緩急遅速のある筆法。気脈を生かした一行の流れの美しさが、三行相まって魅力ある作品に仕上がっています。

市長賞は、懐広く、温かみを感じられる文字造形で、重厚さもあり、気宇雄大な作品となりました。

書は、文字を使って表現しますが、線質、基本的な確かな文字造形が求められます。今後も益々期待しています。

No	題 名	氏 名	住 所
1	(最優秀賞) 高橋藍川詩	野村 雅真	田辺市
2	(市長賞) 感春雑詠	高橋 清川	田辺市

## (教委賞)

3	自作詩	大谷 和風	田辺市
4	秋かぜに	大西 雅子	田辺市
5	朱恬煥詩	上浦 馨衣	田辺市
6	楠本向谷の句	小山 萌舟	白浜町
7	寒日耽吟	中田 光葉	田辺市

## (奨励賞)

8	臨 孫秋生造像記	新井 そら	南部高校
9	高橋藍川詩	木村 春花	上富田町
10	春効散策(高橋藍川詩)	塩見 蒼龍	田辺市
11	新古今集より	杉浦 隆	白浜町
12	姚鼐詩	高橋 巨佐子	田辺市
13	臨 乙瑛碑	田川 佳乃華	南部高校
14	高橋藍川詩	田中 芳香	田辺市
15	古今和歌集より大江千里の歌を	田上 貴子	上富田町
16	施閨章の詩	辻村 多佳子	田辺市
17	坂村真民の詩	西出 淑子	田辺市
18	斎藤茂吉の歌	宮本 浩子	田辺市
19	王維詩二首	撫養 玄峰	上富田町
20	蔡珪詩	山田 芽以	田辺市
21	朱右詩	和田 玖泉	上富田町

## ( 入選 )

22	懐風藻	石神 楽扇	田辺市
23	唐詩	牛込 耕波	兵庫県
24	唐詩	後藤 桜扇	田辺市
25	李商隠詩	谷上 舟扇	田辺市
26	唐詩	谷口 鈴華	大阪府
27	唐詩	成田 葉扇	田辺市
28	懐風藻	森本 鈴昇	田辺市
29	唐詩	青木 三結奈	神島高校
30	唐詩	窪田 光流	田辺工業高校
31	唐詩	安田 珠唯	神島高校
32	戴丙詩	釣本 茉優	南紀高校
33	宋史詩	北岡 愛海	田辺工業高校
34	自詠詩「神島」	舛岡 松風	田辺市
35	絶句	山本 真知子	上富田町
36	春暁	宮本 直美	田辺市
37	太宰治の心に響く言葉	濱地 里美	田辺市
38	後出塞	萩原 啓偉子	上富田町
39	高適之詩	那須 透水	田辺市
40	烘雲拓月	高田 翠月	上富田町
41	臨 風信帖	火縄 真代	南部高校
42	臨 恩命帖	大前 なみ	南部高校
43	健康長寿	一華	田辺市
44	陳子昂詩	松本 清恵	みなべ町
45	徳富蘆花の詩	畑崎 和代	みなべ町
46	王勃詩	小山 陽子	みなべ町
47	阮籍詩	赤坂 ひかり	みなべ町
48	僧處默詩	前田 尚巳	白浜町
49	陸游詩二句	岩橋 佳諒	神島高校
50	前田夕暮の歌	山岡 龍史	白浜町
51	田端憲之助の歌	瀧畑 光洋	田辺市

## (彫 塑 の 部)

## 講 評

今年は、出品数が増え、バラエティに富んだ作品が並んだ。内容も完成度の高いものや新しい視点で作品を表現しようとする意欲が感じられた。唯、惜しむべきは、全体的に小さな作品が多く、今後はより大きな作品に挑戦してくれることを期待する。

## 市長賞

市長賞の「崩壊」は、文明が崩れさるさまを、無機質な素材を用い表そうとしている。断面が複雑で、表現がリアルであるため存在感があり、秀作である。

## 教委賞

教委賞の「建物」は、微妙に湾曲した形は、長い年月土の中に埋まっていた縄文時代の土器を思わせ、懐かしさを感じさせる作品である。

## 奨励賞

奨励賞の「海洋汚染」は、環境問題をテーマに、汚染に苦しむ魚の様子が、形態と着色で上手く表現されている。口に入れられたレジ袋や台のビニールについては、なくても十分に思いは伝わったのではないかと思われる。

No	題 名	氏 名	住 所
	(最優秀賞)	該当なし	該当なし

1	(市長賞) 崩壊	濱野 彩寧	熊野高校
---	-------------	-------	------

## ( 教委賞 )

2	建物	岡本 彩那	熊野高校
---	----	-------	------

## ( 奨励賞 )

3	海洋汚染	繁行 凰騎	田辺市
---	------	-------	-----

## ( 入 選 )

4	安心	大岩 莉緒	熊野高校
5	楽	太田 晴菜	熊野高校
6	流れ	木村 帆波	熊野高校
7	食物連鎖	田中 咲	田辺市
8	バラの花束	長野 紗彩	すさみ町